



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月28日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	762,055	1.7	13,697	25.3	15,744	28.5	7,810	81.6
2020年12月期第3四半期	749,524	△4.0	10,933	△37.0	12,253	△35.3	4,300	△55.5

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 16,177百万円 (446.0%) 2020年12月期第3四半期 2,962百万円 (△64.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	36.54	—
2020年12月期第3四半期	19.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	721,520	363,631	45.8
2020年12月期	714,443	362,383	46.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 330,722百万円 2020年12月期 330,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	22.00	22.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,037,000	2.2	21,500	23.3	23,200	17.6	10,100	45.2	47.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	220,282,860 株	2020年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年12月期3Q	7,447,341 株	2020年12月期	2,891,607 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期3Q	213,746,849 株	2020年12月期3Q	217,391,280 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が続く中で、個人消費は弱い動きとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下でプチ贅沢の動きなど消費行動が多様化し販売競争が激化するとともに、主原料の小麦粉に加え、卵や糖類、油脂などの原料価格の高騰もあり収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、外出自粛やテレワークの影響もあり売上が伸び悩む厳しい状況となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、緊急事態においてパン、和菓子、洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの使命に従い、新型コロナウイルス感染拡大の中で製品の安定供給体制を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員を対象として検温を実施し、37.2℃以上の発熱がある者は自宅待機とし、また発熱がない場合でも倦怠感や味覚・嗅覚がない等の新型コロナウイルス独特の体調異常の自覚症状がある者も自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策に加え、WEB会議等を活用して事業所間の出張を制限するなど感染防止対策を徹底するとともに、多人数による会食の原則禁止など公衆衛生上の遵守事項を徹底しました。さらに、工場並びに事業所内の感染防止対策として炭酸ガス濃度測定器を導入して換気の悪い密閉空間の改善に取り組み、常時職場内の換気をしながら炭酸ガス濃度を700ppm以下に保ち感染防止対策とするとともに、従業員向けに新型コロナワクチンの職域接種を推進し、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、「いのちの道」の教えに従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」によって、ルヴァン種等を活用した品質向上や新製品開発を推進するなど、各部門毎の業績向上をめざしました。また、日次管理・週次決算の経営手法をヤマザキパンの小売事業に有効に機能させるため小売事業業績改善プロジェクトを設置し、デイリーヤマザキやヴィ・ド・フランスを始めとする小売事業の抜本的な業績改善の取組みを開始するとともに、「いのちの道」の教えに従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求するため、小売事業本部内に戦略製品・戦略商品開発推進チームを設置し、ヤマザキの総力を挙げて自社業態の業績改善をめざした戦略製品の開発を推進する体制を構築しました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、日次管理・週次決算に取り組み日々の仕事の精度を高めるとともに、DY商品・運営合同小委員会を毎週開催し、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して当社グループ商品の充実と戦略商品の開発に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,620億55百万円(対前年同期比101.7%)、営業利益は136億97百万円(対前年同期比125.3%)、経常利益は157億44百万円(対前年同期比128.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億10百万円(対前年同期比181.6%)となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高706億60百万円、対前年同期比96.2%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」の拡販をはかるとともに、健康志向製品の「超芳醇塩分50%カット」や高級食パンの「超芳醇ゴールド」などを発売して取扱拡大をはかり、低価格帯食パンのリニューアルを順次実施してまいりましたが、前期の食パンの需要急増の反動もあり、前年同期の売上を下回りました。

②菓子パン部門（売上高2,595億87百万円、対前年同期比102.6%）

菓子パンは、主力の高級シリーズや「アップルパイ」、「まるごとソーセージ」が堅調に推移するとともに、ラインアップを充実させた「ランチパック」が好調に推移しました。また、買い置き需要に対応した「ベイクワン」シリーズなど複数個入り製品が伸長し、「フレンチクルーラー」などチルド菓子パンが伸長するとともに、新製品の「マリトッツォ」が寄与したこともあり、売上は前年同期を上回りました。

③和菓子部門（売上高495億79百万円、対前年同期比97.3%）

和菓子は、新規製法の餡を活用し、主力の団子、大福、まんじゅうなどの取扱拡大をはかりましたが、前年同期の売上を下回りました。

④洋菓子部門（売上高1,020億66百万円、対前年同期比103.3%）

洋菓子は、高品質・高付加価値・高単価製品を計画的に投入した2個入り生ケーキが伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームや、3月に品質を向上させた「プレミアムスイーツ」シリーズが伸長しました。さらに、(株)不二家の洋菓子事業が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高1,084億13百万円、対前年同期比99.0%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおいて、主要販路であるコンビニエンスストアチェーンとの取引減少もあり、売上は総じて前年同期を下回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高1,224億6百万円、対前年同期比103.9%）

製菓・米菓・その他商品類は、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」や(株)東ハトの「ソルティ」が伸長するとともに、(株)不二家の「カントリーマアム チョコまみれ」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は7,127億14百万円（対前年同期比101.3%）、営業利益は148億56百万円（対前年同期比127.0%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、直営店舗数の増加により営業総収入は398億83百万円（対前年同期比111.1%）となりましたが、人件費等コストの増加もあり31億38百万円の営業損失（前年同期は29億31百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は94億57百万円（対前年同期比95.9%）、営業利益は16億83百万円（対前年同期比94.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は7,215億20百万円で、前連結会計年度末に対して70億76百万円増加しました。流動資産は2,598億56百万円で、新規借入金などによる現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に対して36億1百万円増加しました。固定資産は4,616億64百万円で、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に対して34億75百万円増加しました。負債合計は3,578億89百万円で、新規借入金の増加などにより、前連結会計年度末に対して58億29百万円増加しました。純資産は3,636億31百万円で、自己株式の取得による減少がありましたが、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に対して12億47百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は45.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、新型コロナウイルスの接種が進み、景気は持ち直していくことが期待されますが、変異株の感染拡大が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激しさを増す中で、主原料の小麦粉や油脂、卵、糖類など原料価格の高止まりが見込まれており、収益が圧迫される厳しい経営環境になるものと予測されます。

当社は、原料価格の高止まりが予測される中、引き続き高品質で安全・安心な製品を提供するため、2021年10月1日出荷分から、一部の和菓子製品及び洋菓子製品の価格改定を実施いたしました。さらに、小麦粉の高騰が見込まれており、パン製品につきましても、先行して改定した和菓子製品、洋菓子製品の販売動向を注視しながら、製品規格、製品価格の改定を含めた検討を進めているところであります。

引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底につとめるとともに、「いのちの道」の教えに従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」によって、お客様の求めに応じた製品の品質向上や新製品開発を推進するなど、各部門毎の新しい価値と新しい需要を創造して業績向上をめざしてまいります。また、デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次決算を徹底し、戦略製品・戦略商品開発推進チームを中心に、「いのちの道」の教えに従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求してヤマザキパングループの総力を挙げた戦略製品の開発に取り組み、業績向上をめざしてまいります。

なお、2021年2月12日付にて公表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,588	140,557
受取手形及び売掛金	112,639	84,377
商品及び製品	11,966	12,648
仕掛品	788	849
原材料及び貯蔵品	10,442	10,499
その他	12,212	11,293
貸倒引当金	△382	△370
流動資産合計	256,255	259,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	390,037	395,369
減価償却累計額	△286,569	△291,059
建物及び構築物 (純額)	103,467	104,310
機械装置及び運搬具	521,328	528,448
減価償却累計額	△436,800	△445,366
機械装置及び運搬具 (純額)	84,528	83,081
工具、器具及び備品	36,767	37,212
減価償却累計額	△28,405	△29,597
工具、器具及び備品 (純額)	8,362	7,615
土地	110,593	112,167
リース資産	10,238	10,207
減価償却累計額	△6,315	△6,011
リース資産 (純額)	3,923	4,195
建設仮勘定	4,697	5,151
有形固定資産合計	315,572	316,521
無形固定資産		
のれん	12,030	11,092
その他	9,451	9,478
無形固定資産合計	21,481	20,570
投資その他の資産		
投資有価証券	68,442	74,945
長期貸付金	824	868
退職給付に係る資産	378	397
繰延税金資産	25,409	22,763
その他	28,747	28,263
貸倒引当金	△2,668	△2,666
投資その他の資産合計	121,134	124,571
固定資産合計	458,188	461,664
資産合計	714,443	721,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,466	68,885
短期借入金	50,716	56,813
リース債務	1,499	1,469
未払法人税等	6,179	3,167
未払費用	40,079	33,949
賞与引当金	4,571	12,674
販売促進引当金	1,232	1,115
店舗閉鎖損失引当金	—	12
資産除去債務	1	13
その他	37,214	32,140
流動負債合計	216,962	210,241
固定負債		
長期借入金	16,601	30,882
リース債務	2,879	3,150
役員退職慰労引当金	4,072	4,129
環境対策引当金	1	—
退職給付に係る負債	100,222	98,429
資産除去債務	4,744	4,742
その他	6,575	6,313
固定負債合計	135,098	147,647
負債合計	352,060	357,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,660	9,635
利益剰余金	299,251	302,279
自己株式	△5,241	△14,817
株主資本合計	314,684	308,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,168	29,453
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	91	437
退職給付に係る調整累計額	△9,556	△7,378
その他の包括利益累計額合計	15,802	22,611
非支配株主持分	31,896	32,908
純資産合計	362,383	363,631
負債純資産合計	714,443	721,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	749,524	762,055
売上原価	489,162	496,661
売上総利益	260,361	265,394
販売費及び一般管理費	249,427	251,697
営業利益	10,933	13,697
営業外収益		
受取利息	75	95
受取配当金	683	718
固定資産賃貸収入	684	677
持分法による投資利益	286	481
為替差益	-	385
雑収入	802	822
営業外収益合計	2,532	3,181
営業外費用		
支払利息	491	531
固定資産賃貸費用	251	223
雑損失	469	379
営業外費用合計	1,212	1,134
経常利益	12,253	15,744
特別利益		
固定資産売却益	72	70
助成金収入	※1 97	※1 1,221
投資有価証券売却益	40	-
特別利益合計	209	1,292
特別損失		
固定資産除売却損	892	904
減損損失	478	724
臨時休業等関連損失	※2 312	※2 59
その他	120	194
特別損失合計	1,804	1,882
税金等調整前四半期純利益	10,658	15,154
法人税等	6,091	6,181
四半期純利益	4,567	8,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	266	1,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,300	7,810

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	4,567	8,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,862	4,294
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	77	720
退職給付に係る調整額	2,184	2,164
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	24
その他の包括利益合計	△1,604	7,204
四半期包括利益	2,962	16,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,700	14,620
非支配株主に係る四半期包括利益	262	1,556

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,555,100株の取得を行っております。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が9,575百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が14,817百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗に伴い感染者数は減少傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大については、今後の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況にあります。今後もワクチン接種が加速されると想定されますが、新型コロナウイルス感染症の影響は2021年度末までは継続するものと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

また、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの営業時間短縮要請に応じたフレッシュバーカリー等小売事業において営業時間の短縮を実施いたしました。

当該営業時間短縮による協力金等は、「助成金収入」として特別利益に計上しております。

※2 臨時休業等関連損失

前第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの休業要請等を受け、コンビニエンスストアやフレッシュバーカリー等小売事業において臨時休業や営業時間の短縮を実施いたしました。

当該休業期間中の固定費(人件費、賃借料、減価償却費等)及び関連する費用については、「臨時休業等関連損失」として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間においては、海外子会社にて新型コロナウイルス感染症に関連して発生した固定費(人件費)及び費用を「臨時休業等関連損失」として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	703,752	35,907	9,864	749,524	—	749,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,490	4,418	27,263	38,172	△38,172	—
計	710,242	40,325	37,128	787,696	△38,172	749,524
セグメント利益又は損失(△)	11,699	△ 2,931	1,775	10,543	390	10,933

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額390百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	712,714	39,883	9,457	762,055	—	762,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,834	5,018	28,361	40,213	△40,213	—
計	719,548	44,901	37,819	802,269	△40,213	762,055
セグメント利益又は損失(△)	14,856	△ 3,138	1,683	13,401	296	13,697

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額296百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	73,482	9.8%	70,660	9.3%	△ 2,821	96.2%
	菓 子 パ ン	253,102	33.8	259,587	34.0	6,484	102.6
	和 菓 子	50,959	6.8	49,579	6.5	△ 1,379	97.3
	洋 菓 子	98,826	13.2	102,066	13.4	3,240	103.3
	調理パン・米飯類	109,519	14.6	108,413	14.2	△ 1,105	99.0
	製菓・米菓・その他商品類	117,862	15.7	122,406	16.1	4,544	103.9
	食 品 事 業 計	703,752	93.9	712,714	93.5	8,962	101.3
	流 通 事 業	35,907	4.8	39,883	5.2	3,976	111.1
	そ の 他 事 業	9,864	1.3	9,457	1.3	△ 406	95.9
	合 計	749,524	100.0	762,055	100.0	12,531	101.7

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家〈連結〉	69,625	73,814	4,188	6.0%	503	1,957	1,453	288.4%
(株)サンデリカ	80,606	78,561	△ 2,045	△ 2.5	△ 327	13	340	—
ヤマザキビスケット(株)	24,374	24,542	168	0.7	218	474	256	117.4
(株)東ハト	20,150	21,436	1,286	6.4	881	1,072	190	21.6
(株)ヴィ・ド・フランス	17,270	17,573	303	1.8	△ 2,831	△ 2,397	433	—

(3)2021年12月期第3四半期の単体業績 (2021年1月1日~2021年9月30日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	551,526	2.0	11,850	△ 3.8	14,422	0.4	9,214	1.5
2020年12月期第3四半期	540,916	△ 3.2	12,315	△ 6.1	14,359	△ 8.4	9,074	△ 2.9

②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2021年12月期第3四半期	546,745	302,813
2020年12月期	534,510	303,789

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前第3四半期 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)		当第3四半期 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	74,172	13.7%	71,327	12.9%	△ 2,844	96.2%
菓子パン	240,442	44.5	249,311	45.2	8,868	103.7
和菓子	50,992	9.4	49,616	9.0	△ 1,376	97.3
洋菓子	77,402	14.3	79,594	14.4	2,192	102.8
調理パン・米飯類	36,259	6.7	36,351	6.6	91	100.3
製菓・米菓・その他商品類	31,261	5.8	31,313	5.7	52	100.2
小計	510,530	94.4	517,515	93.8	6,984	101.4
デイリーヤマザキ事業	40,325	7.4	44,901	8.2	4,576	111.3
内部消去	△ 9,939	△ 1.8	△ 10,890	△ 2.0	△ 950	—
合計	540,916	100.0	551,526	100.0	10,609	102.0

(5)単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2020年 第3四半期		2021年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	15,247	3.0	14,989	2.9	△ 258	△ 1.7
デイリーヤマザキ事業	△ 2,931	△ 7.3	△ 3,138	△ 7.0	△ 206	—
合計	12,315	2.3	11,850	2.1	△ 464	△ 3.8

<山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳>

(単位:百万円)

	2020年 第3四半期		2021年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	160,987	31.5	162,204	31.3	1,216	0.8	売上高の増加 3,226 原材料費の増加 ▲ 1,049 労務費の増加 ▲ 1,247 経費の減少 63 償却費の減少 43 その他 180
販売費及び一般管理費	145,739	28.5	147,214	28.4	1,474	1.0	人件費の増加 ▲ 887 経費の増加 ▲ 602 償却費の減少 15

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。